

点字・録音版も!

FUKUSHI-TSURUMI

福祉

横浜市鶴見区社会福祉協議会

53み

vol.

<http://www.yturumi-shakyo.jp/>

【第53号】2006年10月1日発行

編集・発行 社会福祉法人 横浜市鶴見区社会福祉協議会

TEL.045-504-5619 FAX.045-504-5616

C O N T E N T S

特集 地区社協ってなんだろう?

【つるボラ登場】

グループオープン

サマフレ06・

社会人ボランティア

善意銀行 ◆ 区社協からのお知らせ

【表紙写真(2006年9月撮影):ここは鶴見のどこの空? 問題は下に...】



ここは鶴見のどこの空?

① 大黒海づり公園

② 入船公園

③ 三ツ池公園

空高く、秋を感じさせる風が心地よく吹き抜けます。
さて、ここはどこでしょう。

応募方法は最終

ページをご覧ください

撮影者: 白鳥威 / 撮影協力: 横浜市港湾局

地区社協ってなんだろう...? 第2弾

「上末吉地区社協の1日に密着!」



みなさんこんにちは。「福祉つるみ」第49号の特集で「地区社協ってなんだろう...?」で登場した岩澤一家の父です。おぼえているかな？
 前は、地区社協ってどんな団体？どんな人が活動しているの？といった概要についてのお話でした。今回は、もうちょっと突っ込んで、実際の活動の様子をお伝えします。
 ご協力いただいたのは、**上末吉地区社会福祉協議会**。中でも古い歴史を持つ食事会「**やよい会**」を密着取材しました。じゃあ、うちの息子のゆうじにレポートしてもらいましょう。

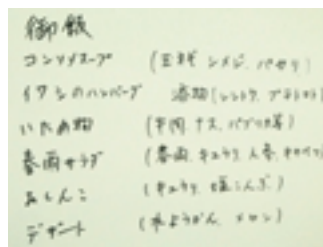
「私の地区での活動は?」「私も参加してみたい!」という方は、
 鶴見区社協までご連絡ください。
 49号の特集記事はHPからもご覧になれます。
<http://www.yturumi-shakyo.jp/www/works/index.htm>

こんにちは! ゆうじです!

この「やよい会」は、ひとり暮らしの高齢者を招いての食事会。毎月第3金曜日に末吉地区センターでやっていて、今年でもう25年目。もうすぐ通算250回を迎えるんだって!

朝9時30分。あいにくの雨。でも地区センターの調理室からは、すでにスタッフたちのにぎやかな声が。朝から調理をしないと12時からの食事会に間に合わないんだね...

調理をするのは上末吉5丁目町内会の皆さん。上末吉地区には7つの町会があって、1町会ずつ持ち回りで献立と調理を担当。スタッフの方は「60人分を作るなんてめったにないから大変。でも、皆さん楽しみにしているし、私たちも楽しい」と言っていたよ。



今日の献立。みんなで力をあわせた手作り



みんなとおしゃべりするのが楽しい



寺尾地区センターの一室。会食会にやってきたお年寄りに「お元気でしたか?」と声をかける人、てきぱきと机を並べたり、輪投げを運んでくる人...。自家製のヨウカンを持ってくるお年寄りもいて、和やかな雰囲気に会話ははずみます。

グループオープン

(プロフィール) 設立: 平成3年 / 活動日: 第4木 / 活動場所: 寺尾地区センター

グループオープンは、平成2年に地区センターで行われた高齢者・障害者ボランティア養成講座の卒業生により結成されました。月に1回、お年寄り等を招いて会食会を行っています。別のボランティアグループが食事を作っている間、オープンは配膳の準備をしたり、午後のレクリエーションを担当。

メンバーの一人は、仕事をやめて三ツ池公園を散歩中にたまたまメンバーに出会い、一緒に歩いたりしているうちに、ボランティアに誘われました。「それまでは地区センターの存在さえも知らなかったのに」。また、ある人は、初めはご主人に付き添って会食会のお客さんとして通って来ていました。そのご主人をみとった後、今度は恩返しをしたいと思い、今

ではボランティアとして活動しています。代表の柴田さんも、家族の介護が終わったから、とボランティアに参加した一人。「みんなの元気な顔を見るのが楽しみ」「ここに来るとエネルギーをもらえる。懐かしい歌を歌ったりして元気になる」と話します。オープンってどんなところですか?と聞くと、自由に、ムリせず、明るく、仲良く、と皆さんが口々に話すのが印象的でした。

新しい仲間はいつでも歓迎。お問い合わせは寺尾地区センターまで。(☎584-2581)



食後のラジオ体操

善意銀行寄付

善意の寄付をありがとうございました 平成18年5月1日~平成18年8月31日()内は寄付回数

金銭寄付(敬称略)

(株)LINX新川崎/阿佐 貞太郎(4)/岩澤 尹鶴子(3)/大橋 洋子/小野 梅子/小野 芳太郎(2)/神奈川土建一般労働組合横浜鶴見支部/(株)ニユートーヨー(4)/貴田 米吉(2)/キピタスの会/工藤 高之祐(5)/国際ソロプチミスト横浜東/齋藤 百合子/田辺 朝子/つるみフォーラムのねっさん/中島 明高/

中島 重子/西脇 和子/白 蓉子(3)/平井 洵子(4)/フラダンスフェスティバル/山口 嘉昭/横浜市生麦地区センター・紫陽花チャリティダンスパーティー/横浜鶴見西ロータリークラブ/馬場町西部・馬場町南部自治会/コープかながわ馬場店/匿名

物品寄付(敬称略)

吉兆グループ(4)/YC鶴見西部



女性スタッフからも「頼もしい」との声が

その中に、1人だけ男の人がいたんだ。
僕の父ちゃんと同じ年くらいかなあ...。
「調理師の資格もあるし、調理は好きだけど、
こういう活動は初めてです。今後も参加したいですね！」
カッコいいなあ。うちの父ちゃんもやればいいのに...



これで参加費200円だって！



参加者もスタッフもみんなでいただきます!!

そうこうしているうちに、10時30分。受付を担当する人もやって来た。受付と会場設営は、民生委員さんが担当しているんだって。
「1人じゃなかなか作れない揚げ物や焼き物も出て好評。毎回会場がいっぱいになる」と話すのは、地区社協の事務局長の佐貫さん。調理も大変だけど、会場設営をしたり、受付したり...いろいろな役割が必要なんだね。

11時。お年寄りが集まって来た。お茶を飲みながらお話する人、保健師さんに血圧を測ってもらう人...。「食事もおいしいし、保健師さんとお話できるし、何より皆さんと会えるのがうれしい」と毎回参加される方も。

雨だけど、12時には会場は超満員！いよいよ食事会の始まり。皆さん食事が待ち遠しい様子だよ。



最後に、上末吉地区社協会長の横山義雄さんにお話をうかがって見たよ。

「毎月各町会が持ち回りなので毎回の料理に違う味わいがあるって、そこがまた面白い。スタッフも若くなって、料理も少しずつ変わってきた。今日は男性スタッフが来たんだって？頼もしいし、ありがたいね。」

次のやよい会では、どんな人がどんな料理を作るのかな？楽しみだなあ。



こうして盛況のうちに終わった食事会、スタッフも参加者もみんなが楽しんでやっているように感じたよ。それが250回も続けていく秘訣なのかなあ。以上、レポートでした！



ありがとう。

このような食事会は、食事だけでなく地域との交流としても大切な時間となっているようです。そしてなにより、スタッフ自身が楽しみながら、活動をしていくことが地区社協の活動の大切なことだと思います。

今回調理に参加していた男性のように新たに地区社協活動に参加しようかな、という方も、ずっと続けて活動されている方も、楽しみながら地区社協を盛り上げていてもらいたいものです！

発見、たくさん！ 続ける自信もふくらむ

～サマーフレンド2006(障害児余暇支援事業)に参加した社会人ボランティアに聞きました～

8月9日に参加した社会人のみなさん。写真左から鈴木隆太さん、竹内昭道さん、小林良典さん、小倉隆太さん、百武正人さん



地元、総持寺からは修行中の若い僧侶が初参加、小学校の個別支援学級の先生、会社を休んで参加した人など、社会人の姿が目立ったのも特徴です。

サマフレは、障害児たちに夏休みをボランティアと一緒に楽しく過ごしてもらうための企画。90名近いボランティアのうち大半は高校～大学生でしたが、そこに社会人の姿が混じること、どこか安心感が生まれました。まるで近所のお兄さんやおじさんのように、障害児とだけでなく若いボランティアとうち解ける光景はほのぼのとしていました。

お話を伺った5人の方からは、障害のある子どもたちと二日間を過ごし、打ち解けていく中で、

・どう接していいか最初は手探りだったが、子どもの楽しそうな表情や行動に救われた

10代から70代まで幅広い世代のボランティアが参加した今年の「つるみサマーフレンド2006」。

・過ごす時間が長くなるほどとうまくコミュニケーションが取れるようになった

といった感想が聞かれました。中にはすでに会社の関係などで積極的に活動をしている人もいて、今回のサマフレで僧侶の方などとの新たなネットワークが広がった、と話す方もいました。

多くの社会人は、仕事や家族、町内会の活動などで大忙し。ボランティアをしてみたくても時間はないし、若い学生や主婦ばかりで入りにくい...と感じている方も多いようです。でも、サマフレのような場も社会の縮図だと考えると、色々な人が混じっているのが自然。送り迎えをする障害児の親御さんとのさりげない会話やちょっとしたトラブル時の機転など、さすが社会人、という場面もあります。

ボラセンでは、入門講座やネットワーク作りなどをとおして、社会人の皆さんが活躍しやすい活動を考えていきます。皆さんもどんどんご意見をお寄せ下さい！



車座になったの反省会。みんなホッとした様子でした

鶴見区社協より

ボランティア入門講座

～親子で。夫婦で。友だち同士で。恋人と。
会社の仲間で。みんなでやろう！

ボランティア!! 講座～

「定年後ゴロゴロしてばかりの夫を外に出したい」「最近、子どもと話すことが少なくなった」という人、ボランティア活動をきっかけに、何かを変えてみませんか？ でもどうやって始めたらいいの？？ そんなあなたの？を解決する講座です。

○内容：夫婦・会社員・親子ボラなどの経験談、ボランティア豆知識、区内活動団体PR など

○日時：11/25(土)10:00～15:30

○場所：UNEXビル6階

○参加費：1人500円(2人以上の申込みは1人400円 昼食代保険代含む)

○定員：30名

○申込：鶴見区ボランティアセンター

(区社協内)(☎504-5625)

詳細は、HPへ(10月下旬までに掲載予定)

送迎サービスをご利用になりませんか？

鶴見区内にお住まいの要介護、要支援高齢者の方々が安心して通院等の外出ができるようボランティアによる送迎サービス(有料)を行っています。ご利用ご希望の方はご相談ください。利用するには事前の登録が必要となります。

○利用日時：月～土 9:00～17:00

○問合せ：☎502-2686(送迎専用)



その他

手話サークル「f-net」

メンバー募集！

手話に興味のある方。ろう者が、やさしくていねいに教えてくれます。初心者大歓迎!! 会社帰りにも勉強できます。居心地のよい雰囲気での学習スタイルです。

○日時：毎週木曜日18:30～20:30

(月末は休みの場合もあり)

○場所：UNEXビル5Fまたは6F

○申込：いつでも見学歓迎。

見学希望の方は事前にFAX。

○連絡先：田邊美幸(☎508-5763)

ボランティア養成講座

養護学校で初めてボランティアをする人にむけて。3回シリーズですが、全部参加できなくても可。初心者、高校生大歓迎です！

○日時：10/28(土)障害について・養護学校の生徒への適切な対応について学習

11/11(土)児童・生徒と一緒に学習発表会に参加

1/13(土)卒業生(青年教室)と一緒に餅つき

○場所：鶴見養護学校

○申込：電話またはFAX

○連絡先：県立鶴見養護学校(駒岡4-40-1 地域・協働支援部 大島

☎573-4787 ☎584-8502)

鶴見区知的障害児余暇活動グループ

『ゼリービーンズ』ボランティア募集

子どもたちと一緒にいろんなところに行ってみませんか？元氣な子どもたちをサポートしてくれる方募集中！



○日時：第3日曜日 9:30～15:30

○内容：知的障害児の余暇活動のサポート

○募集年齢：17歳以上30歳以下

○連絡先：鶴見区ボランティアセンター(区社協内)(☎504-5625)

鶴見区知的障害児者親の会「ひよこ会」

保育ボランティア募集

発達に遅れがある入園前の子どもたちと楽しく遊んでくれる方を募集しています。

○日時：月・水曜日 9:40～13:30(週1でも可)

○場所：地域活動ホームもとみや・神奈川県競輪組合(花月園)

○内容：公園の散歩や外遊びの付き添い

○連絡先：鶴見区ボランティアセンター(区社協内)(☎504-5625)

作業所自主製品の販売

区内の地域作業所等で作成している自主製品の販売会を行います。日用品やお菓子など、まごころのこもった製品をぜひご覧ください。

○日時：10/27(金) 11/24(金)
12/6～8(金) 1/26(金)
2/23(金) 10:00～15:00

○場所：区役所1階ロビー

特に記載がないものは参加費無料
地域によっては配布時期が前後するため、すでに応募が終了している場合もございますが、ご容赦ください。

編集後記 実りの秋です。

今回は、鶴見区内に実り、たくさんの人の心を満たしている活動をご紹介しました。次号もご期待ください。(S)

●編集委員 小山 和雄 谷口 みつ子
三原 恵子 林 沙織 吉泉 英紀

「鶴見の空クイズ」&愛読者アンケート

パスネット1,000円分を5名様にプレゼント!

表紙の写真を見てピンときた方、ご応募ください! 正解者に抽選でパスネットをプレゼントします。

応募は、はがき・FAX・Eメールで、①表紙のクイズの回答 ②〒・住所・氏名・TEL・性別・年齢 ③福祉つるみを手に入れた場所 ④今号の中でよかった記事 ⑤取り上げてほしいテーマ ⑥感想を記入の上、11月30日(必着)までに下記「アンケート係」へ。(次号、企業や商店街等の社会貢献を特集します。ユニークな取り組みをご存じの方、ぜひお知らせください)

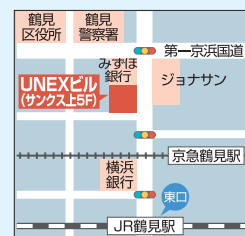
当選者は次号にてご紹介いたします。頂いたご意見は紙面でご紹介させていただくことがありますのでご了承ください。第52号当選者 石井 佐藤 鶴田 根本 平木(五十音順・敬称略)クイズの答えは「⑥鶴見市場地域ケアプラザ・コミュニティハウス」でした。

〒230-0051
鶴見区鶴見中央
4-32-1
UNEXビル5F
鶴見区社会福祉協議会
☎504-5619
☎504-5616
Eメール:

yturumi-shakyo@guitar.ocn.ne.jp

HP:

http://www.yturumi-shakyo.jp/



ますます充実

送迎に

自家用車やタクシーに車いすを積み込むのは大変。車いすを積み込む車いすのままウエルキャブなら車いすもお乗りいただける車種もご用意しています。

ご旅行に

「遠出をするのはちょっと...」
と思いがちなお年寄りや
お身体の不自由な方でも、
乗り降り簡単なウエルキャブ
ならご旅行も快適!



トヨタレンタリース横浜 鶴見三角店

045-580-4600

横浜市鶴見区佃野町11-4
JR鶴見駅西口より徒歩10分

安心の
料金で

標準車と
同額の料金でご利用
いただけます。

※実際の保有車両は、写真の型式・仕様・色等が異なる場合があります。 ※お問い合わせの車両が満車の場合はご了承ください。